

2009年度

先進的組込みソフト産学官連携プログラム

組込み適塾



組込みソフト産業推進会議



独立行政法人
産業技術総合研究所 関西センター

ご挨拶



組込みソフト産業推進会議 会長
宮原 秀夫
(情報通信研究機構 理事長)

日本の経済を牽引してきた情報家電、携帯電話、自動車などの機能や性能は、搭載させる組込みソフトウェアの品質・性能に大きく依存しており、モノづくりにおけるソフトウェアの重要性は、ますます高まっています。製品における機能や性能の向上は、組込みソフトウェアの開発規模の巨大化・複雑化を加速させ、その品質の確保は、企業における重要な課題であります。

組込みシステムの高度化と品質向上に対応するために、組込みソフトウェア技術者を育成することは、企業における喫緊の課題といえるでしょう。

関西には、時代の先端をいく情報家電メーカーや高度なソフトウェア工学の研究を進めている大学・公的機関が多数集積しており、ソフトウェア産業のポテンシャルが高いといえます。その関西において、産学官が連携・協力を図ることで、企業が求める人材の育成が可能になると考えております。

「組込み適塾」において、組込みソフト分野における高度な人材教育を行うことにより、関西ひいては、日本の組込みソフト産業の国際競争力の強化に貢献していきたいと考えております。

イノベーションにはそれを担う産業技術人材が不可欠です。組込みソフトウェアが様々な機器に組み込まれ広く使われるようになったいま、高度な組込みソフトウェア技術者の育成を目指した「組込み適塾」はまさに時宜にかなったものと言えるでしょう。

産業技術力強化法の趣旨にのっとり、産業技術総合研究所は産業技術人材育成をミッションの一つに掲げてきました。「組込み適塾」は、産業技術総合研究所関西センターを「産学官の力を結集した産業人材育成の場」として提供し、産業界(組込みソフト産業推進会議)と共同で実施する新しいスキームの試みです。産業技術総合研究所システム検証研究センターの研究成果が産業技術人材育成という新たなミッションの実現につながり、さらには、この場が関西地域からのイノベーション創出に貢献できることを願っております。



産業技術総合研究所
関西センター 所長
神本 正行



組込み適塾 塾長
今瀬 真
(大阪大学大学院 情報科学研究科長)

組込み適塾とは

大阪の地において緒方洪庵が開いた適塾は、「学問・教育は、自由闊達に切磋琢磨することである」との精神の下、幕末から明治維新にかけて、数多くの俊才を輩出し、近代日本の確立に大きな役割を果たしてきました。我々、組込みソフト産業推進会議と産業技術総合研究所関西センターは、緒方洪庵の開塾の精神に則り、これからのモノづくり産業において重要となる最先端の組込みソフトウェアに関する知識や技術を学び取り、高度な技術者を育成するための場として、「組込み適塾」を創設することに致しました。

「組込み適塾」では、体系的かつ実践的な教育を重視しており、企業からのニーズが高い「システムアーキテクト」の育成を目的としています。この場を通じて輩出される人材が、専門性と技術を通じて、情報家電、携帯電話や自動車などのモノづくりの現場で活躍することはもとより、組込みソフト産業の未来を拓くことにより、日本のモノづくり産業の発展に寄与することを願っております。

2008年度の講義風景



授業風景



「組込み適塾」修了式



実践演習編 塾生によるプレゼン

プログラムの特徴

- 大学の最先端の研究内容や企業における実際の現場のノウハウを提供
- 実プロジェクトにおける経験談を企業から紹介
- 講師と受講生、受講生同士が切磋琢磨できる場の提供

めざす人材像

組込みソフト開発のプロジェクトにおいて、以下の実践的知識・技術を備え、技術リーダーとして活躍できるシステムアーキテクトの育成を図ります。

- 状態遷移、UML などの典型的なソフトウェア設計手法
- 時間駆動、並列処理などの組込みソフトウェア特有の設計手法
- 信頼性、保守性の高い実装技術
- 組込みソフトに関する豊富な技術知識をキャッチアップする能力

コース概要

- ① **ベース科目** コア科目を受講するための復習、前提知識レベルの科目
- ② **コア科目** システムアーキテクト育成を目指した、本教育プログラムのメインとなる科目
- ③ **アドバンスドトピックス** より高度なレベルを目指した、専門分野の科目
- ④ **実践演習編** 上流工程で必要な知識の習熟度を高めるための演習科目(別途募集)



募集要領

募集人数

30名程度(先着順)

開催日程

2009年7月3日(金)～8月21日(金) (計22日間) 修了式 9月11日(金)

受講要件

1. 組込み開発プロジェクトで1年以上の開発経験を有する実務経験2～5年程度の方
2. C言語でのプログラミングの経験をお持ちの方
※ ポインタや構造体を利用した、C言語による基本的なプログラミング能力をお持ちの方
3. 以下の項目に興味をお持ちの方
ソフトウェア設計、オブジェクト指向言語、ソフトウェア開発プロセス

修了要件

修了の認定は、以下の条件を満たすこととし、修了証を授与する。
● 全科目を受講し、合格していること
(欠席の場合は4科目を限度にレポート提出で受講したとみなす。)

受講料

組込みソフト産業推進会議 会員 25万円
一般 35万円

申込方法

別添の入塾申込書をご記入の上、FAXにてお申し込みください。
詳細につきましては、下記ホームページを参照願います。
URL : <http://www.kansai-kumikomi.net/>

※ 実践演習編は別途募集します。

